

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	日スイス国交樹立150周年記念事業関係費	担当部局庁	欧州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	中・東欧課	課長 河津 邦彦				
会計区分	一般会計	施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2項及び第8項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2014年は、スイスとの外交関係樹立から150年目にあたる。スイスは、その永世中立政策や、それにより多数の国際機関のホスト国である故に、その存在は国際社会において高く評価され、全世界に向けて大きな情報発信力を有する。我が国との関係強化の意欲も強い。このため、同年を「日・スイス交流150周年」と位置づけ、両国の絆と協力の重要性をアピールするとともに、今後の協力関係強化に向け、日スイス双方において各種記念行事を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「日・スイス交流150周年」祝賀のための開幕式典及び条約調印日を記念したシンポジウム等を以下のとおり開催する。 ・オープニングレセプション(スイスの主要都市であるベルン、チューリッヒ、ジュネーブにおいて各1回、計3回) ・記念シンポジウム及び同レセプション(各1回、計2回) (150周年を二国間関係の強化の好機として活用するとの考えはスイス側から提示され、スイス側は力を入れている。スイス側は既に在京大使館のホームページに150周年関係の専門のページを作り、既に、いくつもの関連行事の予定を掲載している。)							
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	6	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	—	—	6	
	執行額		—	—	—	—		
執行率(%)		—	—	—	—			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	日・スイス交流150周年を祝賀し、両国関係の一層の強化を図る。 従来からの日本関係者のみならず、広くスイス各界、各層に150周年の認知を高める。		成果実績		—	—	—	オープニング・レセプション計3回、シンポジウム及び同レセプション計2回
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	オープニング・レセプションの開催(ベルン、チューリッヒ、ジュネーブ計3回) 記念シンポジウム及び同レセプションの実施(計2回)		活動実績 (当初見込み)		—	—	—	— (5)
単位当たり コスト	1. 2百万円(円/件)		算出根拠	25年度要求額(6百万円)/活動見込件数(5件)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	文化人等派遣旅費	—	1					
	シンポジウム出席謝金	—	0.4					
	会議費	—	5					
	計	0	6					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	中心的な都市のないスイスにおいて、主要都市3か所でオープニングレセプション各1回、1か所でのシンポジウム及びレセプションを実施するものであり、国が実施すべき事業として最低限のものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きき場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	スイス側も受益する事業であるところ、スイス側も同様の開幕式典を実施することが見込まれている。スイス側はまた、開幕式典以外の本周年関連事業に財政的支援を実施する予定。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	スイス側は、周年の年に大統領の訪日を検討するなど力を入れており、我が方としても少なくとも相応の対応を考える必要があるが、その制約の中でも各種コストについては削減の余地を常に点検していく。また、民間の活動を促進し、民間の力により周年を盛り上げる方途を十分に検討する。		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業について精査した結果、一部事業の縮小	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年行政事業レビュー		－	平成24年行政事業レビュー
			－